



## 1学期を振り返り、そして、夏休み・2学期に向けて

生徒数572名、教職員48名で、令和3年度の第一中学校がスタートし、授業日数約70日間の1学期が今日終了しました。

弘前市では今年、コロナ禍の中、さくらまつりは開会されましたが、ねぶたまつりは中止となりました。また、全国的にワクチン接種が開始されましたが、その供給の減少、デルタ株など変異ウイルスの増加など懸念材料は無くない状況です。今日、お子様に「今後の新型コロナウイルス感染予防について」というお知らせを配布しましたので、お読みになっていただければと思います。

さて、今学期、コロナ禍2年目を迎え、生徒の皆さんは、マスクの着用、給食の黙食、手指消毒などのコロナ予防により意味で慣れてきており、概ね落ち着いた学校生活を送ることができました。特に全校集会における集団としての落ち着きや話を聞く態度は立派なものであると思います。

1学期最大のイベントである夏季中体連では5団体が優勝し、個人競技も含めて84名の県大会出場者を出すことができました。また、吹奏楽部も地区コンクールで金賞を獲得し県大会出場権を獲得しました。コロナ禍においても、やるべきことをしっかり行った成果であると思います。さらに消火活動で善行賞を頂いた生徒もおり、誇るべき立派な生徒がたくさんいることに感謝したいと思います。

今日の終業式では、次のようなこととお話ししました。(一部要約)

昨年の1学期は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため例年通りの学校生活を過ごすことができませんでした。小・中学校の一斉臨時休業があったり、午前授業で給食を食べたら下校したり、部活動ができなかったり、中体連が分散で開催され、県大会以上の大会が中止になったり、そして、終業式は7月31日に行われました。また、さくらまつりも中止になりました。しかし、昨年度の1学期は弘前市での感染者はゼロでした。

今年は、どうかという弘前市でも感染者が増加し、クラスターが発生した運動施設等もありました。しかし、一度も小・中学校が一斉に臨時休業になることはなく、中体連も例年通りに行われました。

「なぜ、今年は、感染者が出ているにも関わらず、一斉休校がなかったのか、中体連も例年通り行われたのか」という学習課題ができます。その正解はたくさんあると思います。それはウイルスの正体がある程度分かってきたことと、こうすれば感染しない、という対策が世の中全体に浸透していき、感染リスクの高いことはしなければよいということが、分かってきたからなのです。そして、ウイルスと共存してできるだけ通常の生活をする必要がある、という考え方に変化してきたからなのです。もちろん正解は他にもたくさんあると思います。

しかし、完全に正体が分かり、デルタ型など変異・進化したウイルスに対してどのように対応していくのか、決定的な治療薬を開発するにはどうすればよいのか、という課題解決はできていません。ある程度は分かってきましたが、まだ分からないこともたくさんあるのです。ですから、夏休み中も決して油断せず、地道な感染防止対策に取り組み続けてください。日本全体の人流が活発になりますので、特に注意が必要だと思います。

さて、ある程度分かっているけれど、完全には分かっていない、これは皆さんが普段の勉強でもあることなのではないでしょうか。なんとなく分かってはいるのだけれど、しっかり分かって

いないので本番のテストになると正解を出すことができない。これは皆さんもここにいる先生方も経験したことがあると思います。しっかりとよく分かったと言える段階まで探究・追究することが大切なのです。

今年度から通知表が少し変わりました。ABCで評定が付く観点4つから3つになりました。3つの中の1つに「主体的に学習に取り組む態度」というものがあります。これは、粘り強く取り組んでいるか、ということと、自分で自分の学習を調整しているか、コントロールしているか、という見方で評定を付けることになっています。そう考えたときに、自分は何が分かっているか、何が分かっているのか、ということ、まず自分で理解し、そして学習を進めていくことが大事だ、ということになります。どうか、夏休み中は自分で分かっていることは、さらによく分かるようにし、分かっていることは、分かるようにしていく学習に粘り強く取り組むこと、粘り強く探究・追究することを期待しています。

最後に、皆さんにお願いがあります。それは何かというと「命を大切にする」ということです。学校で一番、悲しいことは生徒の命が失われることです。毎年、残念なことに全国のどこかで、自然災害、水の事故、交通事故、あるいは事件に巻き込まれたりして中学生の命が失われる、というニュースを耳にします。皆さんの命はたくさんの人たちに守られており、また、皆さんの命は周囲の人やたくさんの人々の人生を幸せにする力があります。どうか、夏休み中は「自分の命は自分で守る」「自分の命はたくさんの人を幸せにする力がある」ということを特別に意識して、有意義に過ごしてください。

夏休み中、①感染予防の徹底を図る②主体的に学習に取り組む③命を大切にする。この三つについて、保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。特に「命を大切にする」ということについて、1学期は自転車に関する事故が数件発生しています。幸い大きな事故には至っていませんが、自転車の安全な乗り方については、被害者にも加害者にもならないように、ご家庭でもご指導くださるようお願いいたします。

2学期がはじまると、直ぐに一中祭、中体連新人戦があります。一中祭は大変申し訳ありませんが、昨年度と同様、地域の皆様のお来校はご遠慮いただき、保護者の皆様は係を担当している方のみとします。どうかご理解ください。また、中体連新人戦の観客については、競技場ごとに異なることとなります。夏休み中の市内各校顧問の先生方の話合いで決まりますので、ご承知おきください。3年生の修学旅行は2泊3日岩手・宮城方面で実施の方向ですのでお知らせします。まだまだ例年通りの通常の教育活動は難しい状況ですが、大人も子どもも、命・健康を「第一」に、今やれることをしっかり行っていきたいと思っています。

## 櫻田市長の講演会が本校で開かれました

7月11日(日)、南横町町会研修親睦交流事業として、弘前市長櫻田宏氏による講演会が本校体育館で開かれました。「私のひろさき愛」というテーマで、協働によるまちづくり、地域コミュニティの維持・活性化にむけた市の取組、クラス対策、雪対策、ワクチンのことなどについてお話ししました。約40名の地域の皆様方が参加し、熱心に聞き入っていました。



### 県中体連速報

- ・男女バドミントン団体2位、女子ダブルス2位(東北大会出場)・陸上;東北大会4名、全国大会1名出場・体操1名東北大会出場
- ・女子テニス団体3位

### 学校閉庁日について

- ・期間 8月13日(金)~15日(日)
- ・学校は職員、警備員が不在であり施設します。
- ・事故等による緊急連絡先は弘前市役所代表電話(35-1111)となり、弘前市教育委員会学務健康課につながります。

★今年度も学校通信を弘前市HPに掲載しています。「第一中学校-弘前市」で検索を。